新規　SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　事業者名：株式会社ジェイコム九州 熊本局

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・「企業理念」「J:COM WAY」「サステナビリティ推進方針」「中期経営計画」を定め、eラーニングなどの施策や企業理念カードの配布などを通じて社内共有を実施								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・従業員によるワークショップ「コンプライアンス委員会」を毎月開催し、まとめた提言を局内で実行 ・コンプライアンスマニュアルを作成し、グループの全従業員に配布、理解や意識を醸成 ・拠点長向けコンプライアンス研修を実施 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組み・ルールを整備																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・従業員向けに、下請法順守や景表法等の研修を定期的に実施										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・全国65局にプロモーション専任担当である「地域プロデューサー」を配置し、地域活性化のための企画提案や、地域密着型のメディア”コミュニティチャンネル”等でのきめ細やかな情報発信を実施																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・従業員向けに、著作権法等の研修を定期的に実施								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・「個人情報保護方針」や「個人情報取扱マニュアル」などを策定 ・継続的な社内研修を行い、情報管理のルールを周知徹底 ・ISMS認証を取得し、情報セキュリティ対策を実施																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・日々の営業活動や、事業エリア内消費生活センターへの定期訪問を通じて、お客さまからのニーズやお困りごとをヒアリングし、社内で共有																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・2023年12月に「J:COMグループ人権方針」を制定し、2024年2月1日に「パートナーシップ構築宣言」を行い、「J:COMグループ持続可能な責任ある調達方針」を制定・公表の上で、お客さまにご満足いただけるサービスの提供、企業と社会の持続的発展を目指し、取引先に対して要請・支援を行い、サプライチェーン全体にこの取り組みを拡大					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・緊急時業務フローのマニュアル化を推進し、事業継続に支障の無い体制を構築 ・事業継続計画（BCP）を策定 ・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●	・フェアトレード推進団体の活動を、コミュニティチャンネルでの紹介や自社イベントへのブース出展でサポート	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・職制上、相談が困難なハラスメントに関する人事ホットラインの設置 ・グループを会社含む従業員および取引先向け外部通報機関の設置 ・ハラスメント撲滅に向けた全社員向けの継続的な研修の実施（毎年）				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・毎月、専門医を招いての安全衛生委員会を開催し、指導内容を従業員に展開することで、安全衛生意識を啓蒙			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・入社の経緯等で発生する従業員間での賃金格差を是正するための新人事制度の導入や使用者（＝管理職）以上の教育実施 ・雇用形態に関わらない同一労働同一賃金の採用					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・テレワーク制度の実施や、シフト勤務/時差出勤制度を導入するなど、柔軟な勤務形態を採用 ・治療や介護、子育てと仕事の両立を支援する制度を導入			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修制度刷新による企業内大学での多様な学びの機会とコンテンツの提供 ・社員のスキルアップを促進する自己啓発プログラムの整備 ・新卒社員向けサポーター制度と若手・中途社員向けメンター制度を導入 ・資格取得支援制度による資格取得費用の負担や補助				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・長時間労働是正のための「原則11時間の勤務インターバル制度」を設置 ・産業医・健康保険組合の連携による従業員の健康増進や疾病・重症化予防に向けた対策を実施 ・人間ドックやインフルエンザ予防接種費用の補助 ・人間ドックおよび健康診断の全従業員受診の推進			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性管理職候補の中長期育成 ・障がい者雇用の促進と定着に向けたサポート ・LGBTQに関する理解促進施策（研修やAllyの見える化）と外部相談窓口の設置 ・外国人採用の実施 ・シニア人財のための定年再雇用制度と評価制度の刷新 ・その他、多様な人財が能力を発揮できる職場づくりの推進				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・テレワーク可能な就業環境や設備環境を構築 ・ウェブ会議で対応可能な会議体については、ウェブ会議にて実施推奨			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・「J:COM BUSINESS」を始動し、企業の抱える課題解決や行政DX化を支援することで、お客さまの事業成長へ貢献 ・ICT専任の提案チーム（熊本1名、九州6名）を構成し、自治体や企業へのDX提案を実施								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

新規　SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　事業者名：株式会社ジェイコム九州 熊本局

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・部品再利用（リファービッシュ）モバイル端末の商品化や、社内で使用済みクリアファイルの回収・リサイクルの取組み ・地域の清掃活動に、従業員が有志を募って自主的に参加			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・局舎内の電力使用量、営業車両のガソリン使用量を毎月集計し、見える化して、全従業員向けに発信 ・社有車に監視機器を取付けて急発進や急ブレーキをリアルタイムに感知し、対象ドライバーへの改善指導を実施 ・伝送路のFTTH化やヘッドエンド設備の消費電力量削減による省エネ化							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・エネルギー管理システムによる、全国各拠点のCO2排出量の現状把握 ・営業車両のライドシェア化へ切替えによるCO2排出量削減 ・クール/ウォームビズによる冷暖房の使用抑制		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・「SDGメディア・コンパクト」加盟企業として、社内外のサステナブルな取組みの発信によるSDGsの認知向上や具体的な取組みへの参画などを啓発 ・熊本県内の生態系維持の取組みをコミュニティチャンネルで紹介						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・古紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等、分別回収ボックスの適正配置等によるごみの分別推進 ・社内資料のペーパーレス化や従業員のマイバッグ・マイボトル利用の促進 ・リファービッシュになどによる、端末機器の廃棄物リサイクル率（サーマルリサイクルを含む）99%以上 ・梱包材やクリアファイルのリサイクルの実施									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水に向けた職場内でのポスター掲示などを通じた従業員への啓発、節水型機器の設置		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・地球環境に貢献できる「J:COMでんきグリーンメニュー」をサービス提供									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・事業活動によるCO2排出量を、2030年度までに実質ゼロとすることをグループ目標として策定し、対外的に宣言							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

新規　SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　事業者名：株式会社ジェイコム九州 熊本局

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・サービスを、安心・安全にお使いいただけるようネットワークの監視から設備の保守まで、24時間365日体制で品質維持に尽力 ・「インターネット接続サービス安全・安心マーク」取得			3.9						9			12.4					
製品・サービス	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・リコメンド機能や誰もが分かりやすいGUIを備えた「J:COMリンク」サービスの提供 ・オンライン診療や迷惑電話自動ブロック機能など、障がい者や高齢者のニーズに即したサービスの提供									9.1	10	11.7						17
製品・サービス	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
製品・サービス	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
製品・サービス	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・通院が難しいなど地域課題の解決策としてオンライン診療サービスを実施 ・激甚災害地域への資機材融通、人的支援を実施	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・自治会への電子回覧板サービス提供による、自治体活動DX化への貢献 ・J:COMオンデマンドサービスを通じた被災地等への寄付活動	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な社会・地方創生	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・発災時に備えた社内防災訓練や、自治体と連携した物資輸送訓練を、毎年実施				4							11.5		13.1			16	
持続可能な社会・地方創生	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・防災・防犯・生活の安心安全をテーマにしたテレビ番組「こちらJ:COM安心安全課」を、コミュニティチャンネルで放送 ・熊本地震を風化させないための震災復興特番を、毎年4月に制作・放送	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
持続可能な社会・地方創生	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
持続可能な社会・地方創生	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・社内報「WOW!NEWS」で、サスティナビリティ経営や社内のSDGs活動を特集し、全従業員に配布 ・eラーニングを用い、サスティナビリティ経営や社内のSDGs活動についての研修を実施	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な社会・地方創生	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・地元高校生、大学生のインターンシップを定期的に受入れ				4				8.6		10.2							17
持続可能な社会・地方創生	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
持続可能な社会・地方創生	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。